

## 編集後記

今号は国際平和ミュージアムの第2期リニューアルを終えた後に初めて送り出す『立命館平和研究』です。巻頭特集はリニューアルにかかわったミュージアム関係者が熱く語った2023年8月の土曜講座を文字化したものです。それに続いて、哲学・思想、心理学、博物館学、メディア研究、平和教育等々の多様なアプローチで平和についての考察を深めた論稿が続きます。それぞれ力作揃いであり、編集に携わった者として寄稿された執筆者の方々にあつく御礼申し上げます。このように多様なアプローチで平和について考える諸論稿を読みますと、「戦争の専門家はいるかもしれないが（戦争はトップダウンである）、平和の専門家というものはいない（平和創造はボトムアップである）」

ということを想起します。平和は我々すべての人間、市民の関心事であり、すべての人間、市民が平和責任を果たすのだと思います（高橋眞司『続・長崎にあつて哲学する—原爆死から平和責任へ』北樹出版、2004年）。ウクライナ戦争、ガザ危機、東アジアの緊張、新自由主義の席卷等のさまざまな暴力におおわれている世界で、いかに暴力を減らしていけるのか。国際平和ミュージアムとして考え続け、発信し続けたいと思います。

君島 東彦（編集委員、  
立命館大学国際関係学部教授・  
国際平和ミュージアム館長）

## 投稿へのお誘い

1. 立命館平和研究—立命館大学国際平和ミュージアム紀要—では、以下にあげるような、広義の平和に関する研究論文又は学術実践報告の投稿を求めます。

- ・平和に関する学術研究
- ・平和に関する教育実践報告
- ・博物館活動
- ・博学連携

2. 種類と分量

掲載記事の種類と分量は、下記のとおりとし、編集委員会で決定、または承認されたものとします。フォーマットは40字×30行とします。

- |        |                 |
|--------|-----------------|
| ①論文    | 12,000字～20,000字 |
| ②資料紹介  | 4,000字～20,000字  |
| ③研究ノート | 4,000字～16,000字  |
| ④書評    | 4,000字～8,000字   |
| ⑤調査・研究 | 4,000字～20,000字  |
| ⑥実践報告  | 4,000字～20,000字  |
| ⑦研究展望  | 4,000字～12,000字  |

応募原稿は、上記のいずれかに該当するものとします。他の出版物に掲載または採録されたものは採用しません。二重投稿は禁止します。

※上記文字数には、本文、注、スペース、写真、図表等を含みます。

※分量を超えた原稿は審査対象外として査読を経ずに返却することがあります。

3. 言語

原則として日本語、横書き、テキスト形式によるもの。英文の原稿については、事前に編集委員会にご相談ください。

4. スケジュール

7月第1土曜日…執筆者登録（エントリー）締切り  
以下の情報を郵送・ファックス・Eメールのいずれかでお送りください。

- ①氏名、②所属、③連絡先、④原稿の種類・分量、  
⑤題名、⑥日本語要旨（200字程度）

↓

9月末日…原稿締切り

※受取方法：ハードコピーは郵送。封筒に朱書きで「立命館平和研究原稿在中」と明記する。

※提出物：完成原稿と日本語要旨（200字程度）と英語タイトルと英語要旨（250語程度）をハードコピーとデータ（USBかメール添付）両方で提出。

↓

3月上旬…刊行（予定）

5. 投稿原稿については、編集委員会が審議し、掲載、一部書き直し、返却（掲載不可）などの結果を原稿締切り後3ヵ月以内に投稿者に連絡します。

6. 論文に画像を掲載するなど、著作権許諾が必要な記事については投稿者が責任を持って許諾を得ること。

7. 備考

原稿料はお出ししません。

掲載原稿1編につき、本誌5部、抜刷り30部を呈呈します。

8. 原稿提出先・お問合せ先

立命館大学国際平和ミュージアム

立命館平和研究編集委員会

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

TEL.: 075-465-8151 FAX.: 075-465-7899

Email: peaceins@st.ritsumei.ac.jp